

# 開催されるまでの主な活動内容



3/26 第1回実行委員会

こどものまちの説明をみたり、自己紹介を行った。こどものまちに関するクイズ大会は盛り上がりを見せた。



4/9 第2回実行委員会

選挙管理委員会より借用した投票箱と投票用紙を使用してこども実行委員長を決する選挙が行われた。



4/30 第3回実行委員会

開催の仕方、コンセプトについて話し合いが行われた。まちに必要なものを出しあった。



5/21 第4回実行委員会

こどもの人権について講習を受けたのち、やりたい仕事について話し合いました。



6/11 第5回実行委員会

ポスター作りについて学んだのち多様性を知ること、車イス体験が行われた。仕事の担当が決まった。



6/25 第6回実行委員会

メインポスターの選定を行った。小泉市長にまちの作り方についての質問に答えて頂いた。



7/9 第7回実行委員会

担当ごとにわかれ、具体的な内容を決め、必要なものを考えました。まちとなる場所を見てまわった。



7/23 第8回実行委員会

夏休み中の活動計画を立てたり、看板制作を行った。計画の報告や準備期間中の居力依頼を行った。



前日準備

作成した看板や装飾品を実際の場所に配置・貼り付けを行った。参加者役をたて、当日の流れを確認した。

# 新型コロナウイルス対策



## 体調管理の徹底

こども実行委員、大人実行委員はもちろん、参加者も体調調査を行いました。37.5℃以上の熱はないか。本人・同居の家族に風邪症状はないか。マスクをつけているか。手指消毒を行ったか。調査の上、健康に異状がなく、体調管理を徹底した人のみが参加することができます。



## 手指消毒・物品消毒の徹底

施設出入口に設置されているアルコール消毒液の他に、こどものまちでは各ブースにアルコール消毒液を設置しました。また共有しなければならない道具については、消毒・除菌を行った上で次の人が使用しました。また館内の手すりなどは「そうじ」の仕事として消毒を行いました。



## ソーシャルディスタンスをたもつ

実行委員の準備の段階から、ソーシャルディスタンスをたもち実施しました。



## マスク着用

必ずマスクを着用した上で参加しました。



## 入場者数の制限

例年は1日のみの開催でしたが、今年も2日間各日午前・午後の2部制にすることにより分散。更に1回の入場者を120名までと制限しました。また事前予約制とし、開場前の混雑緩和に努めました。電話予約を含めた事前予約の受付もこども実行委員が行いました。